

# ボランティア行動等実態調査【速報】

平成29年1月

## 調査実施の概要

### 1 調査目的

東京都がボランティア活動を推進する中で、都民のボランティア活動に関する取組状況等についての把握を行う。

### 2 調査項目

- (1) ボランティア活動に対する関心の有無
- (2) ボランティア活動の経験の有無
- (3) ボランティア活動の情報の入手先
- (4) ボランティア活動を始めたきっかけ
- (5) ボランティア活動に参加する理由
- (6) ボランティア活動に参加しない理由
- (7) 今後参加したいボランティア活動
- (8) ボランティア活動に関して行政機関に望むこと
- (9) 東京ボランティア・市民活動センターについて 等

### 3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満10歳以上の男女個人
- (2) 標本数：5,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：調査員による個別訪問面接聴取法
- (5) 調査期間：平成28年10月1日～10月31日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会

### 4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率） 3,027標本（60.5%）
- (2) 未完了標本数（率） 1,973標本（39.5%）

東京都生活文化局

## 調査結果の概要

※nは質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す  
※M. A. は回答者に2つ以上の回答を求める質問  
※M. T. はM. A. の場合に、回答の合計を回答者数（n）で割った比率

### 1 ボランティア活動に対する関心の有無

ボランティア活動に対する関心の有無を聞いたところ、半数の人が関心があると回答している（表1）。

表1 ボランティア活動に対する関心の有無

区分	全体	とても関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	全く関心がない	わからない	関心がある（計）	関心がない（計）	無回答
回答者数（人）	3027	277	1234	990	388	129	1511	1378	9
割合（%）	100.0	9.2	40.8	32.7	12.8	4.3	49.9	45.5	0.3

## 2 ボランティア活動の経験の有無

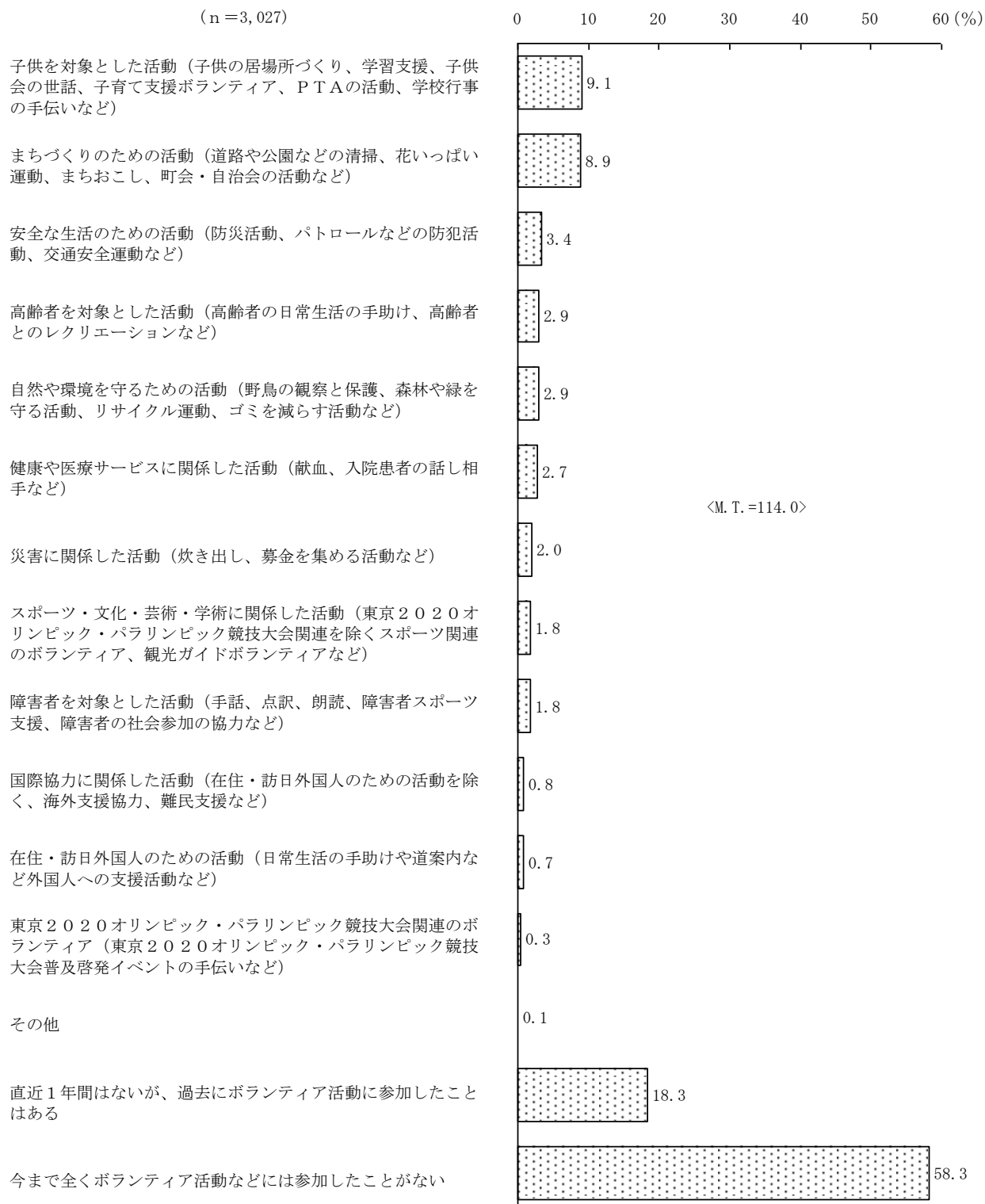
(1) 直近1年間（平成27年10月1日～平成28年9月30日まで）でボランティア活動をした都民の割合は22.9%であり、平成23年に総務省が実施した社会生活基本調査における数値（24.6%）より低くなっている。直近1年か否かに関わらず、過去ボランティア活動をしたことがある都民の割合は、41.3%となった（表2）。

表2 ボランティア活動の経験の有無

区分	全 体	直近1年間にボランティア活動に参加した	直近1年間は参加していないが、過去にボランティア活動に参加したことはある	今まで全くボランティア活動などには参加したことがない	無回答
回答者数(人)	3027	694	555	1766	12
割合(%)	100.0	22.9	18.3	58.3	0.4

(2) 具体的な活動については、「子供を対象とした活動（子供の居場所づくり、学習支援、子供会の世話、子育て支援ボランティア、PTAの活動、学校行事の手伝いなど）」(9.1%)、および「まちづくりのための活動（道路や公園などの清掃、花いっぱい運動、まちおこし、町会・自治会の活動など）」(8.9%)の2つが、それぞれ1割近くとなっている（図1）。

図1 ボランティア活動への参加状況



(3) 性・年齢別にみると、「直近1年間にボランティア活動に参加した」割合は、男性に比べて女性の方が割合が高くなっており、特に女性10代、女性40代では3割半ばとなっている（図2）。

図2-1 ボランティア活動への参加状況（男性・年齢別）

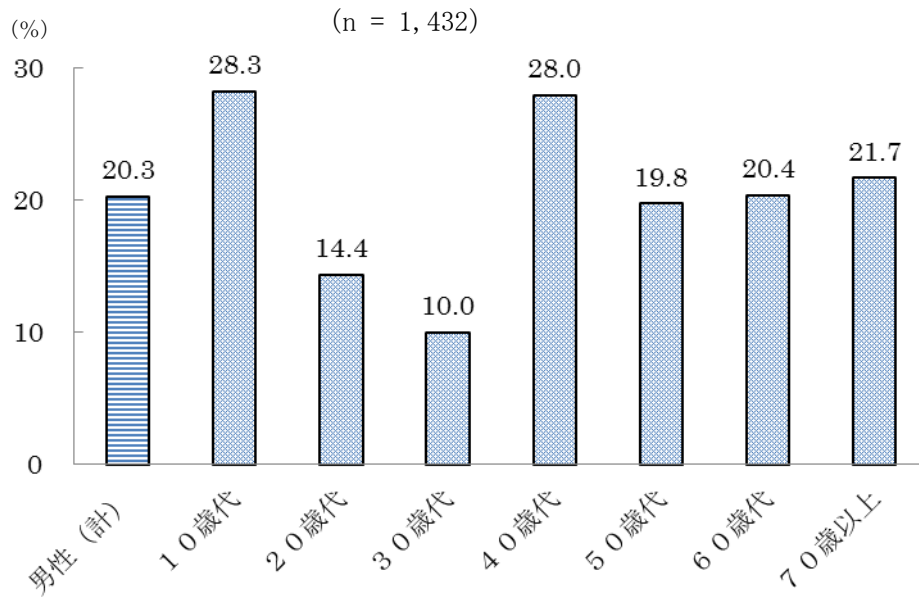
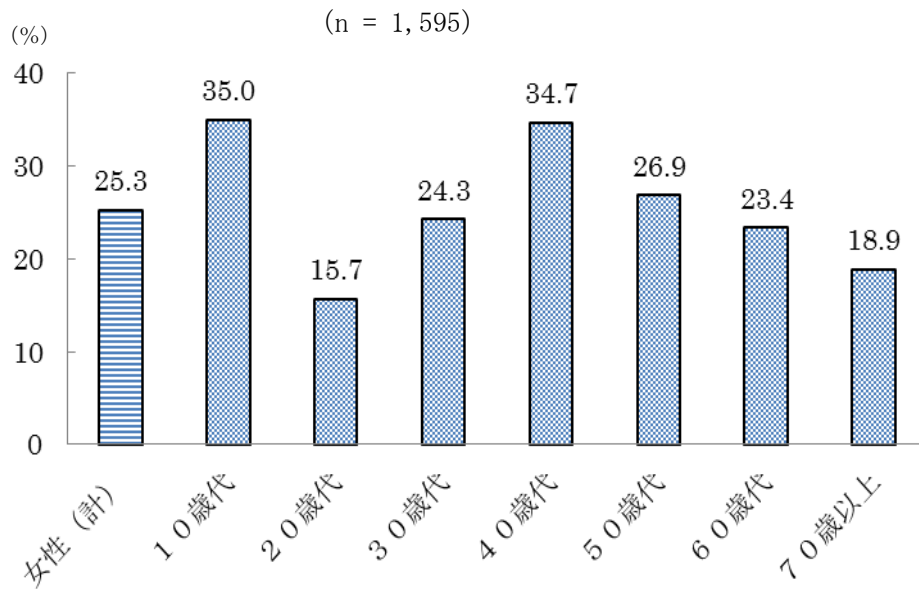


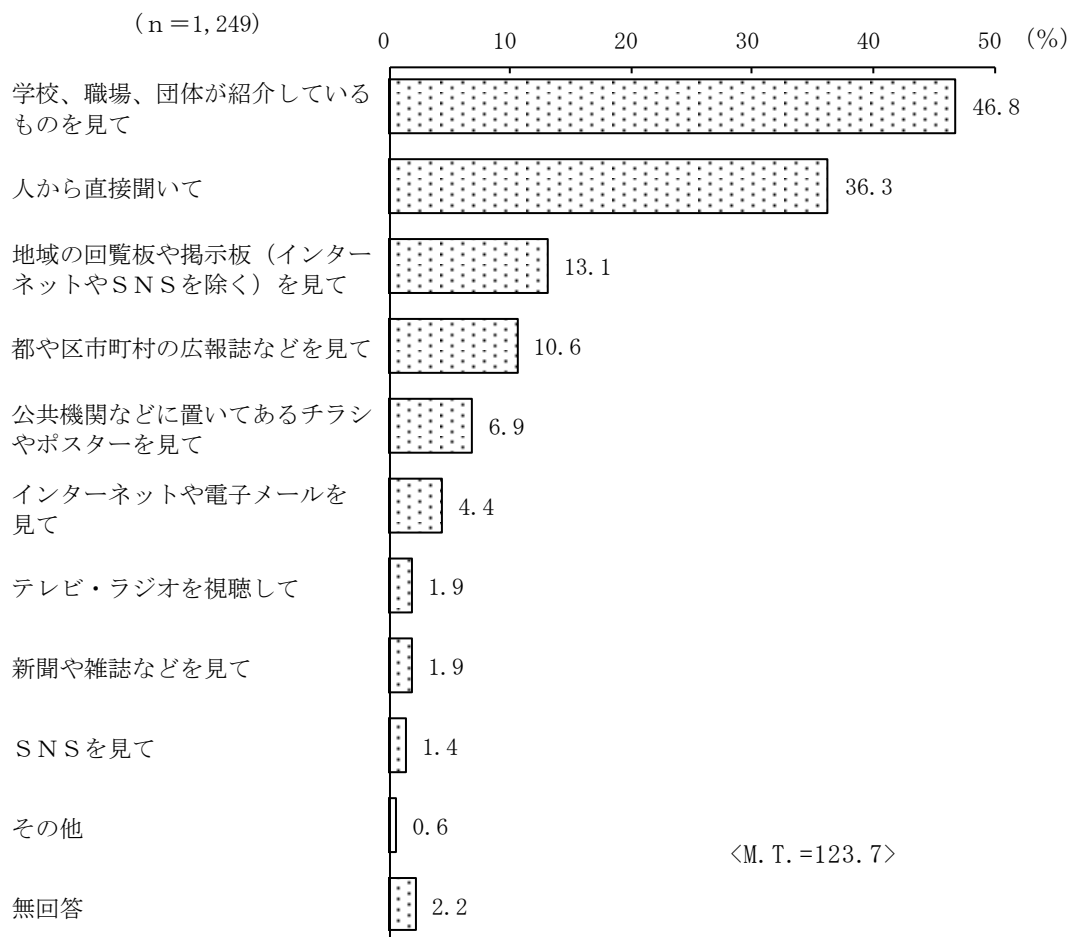
図2-2 ボランティア活動への参加状況（女性・年齢別）



### 3 ボランティア活動の情報の入手先

過去にボランティア活動に参加したことがある人に対して、ボランティア活動に関する情報の入手先を聞いたところ、「学校、職場、団体が紹介しているものを見て」(46.8%)、「人から直接聞いて」(36.3%)という回答が多く寄せられた(図3)。

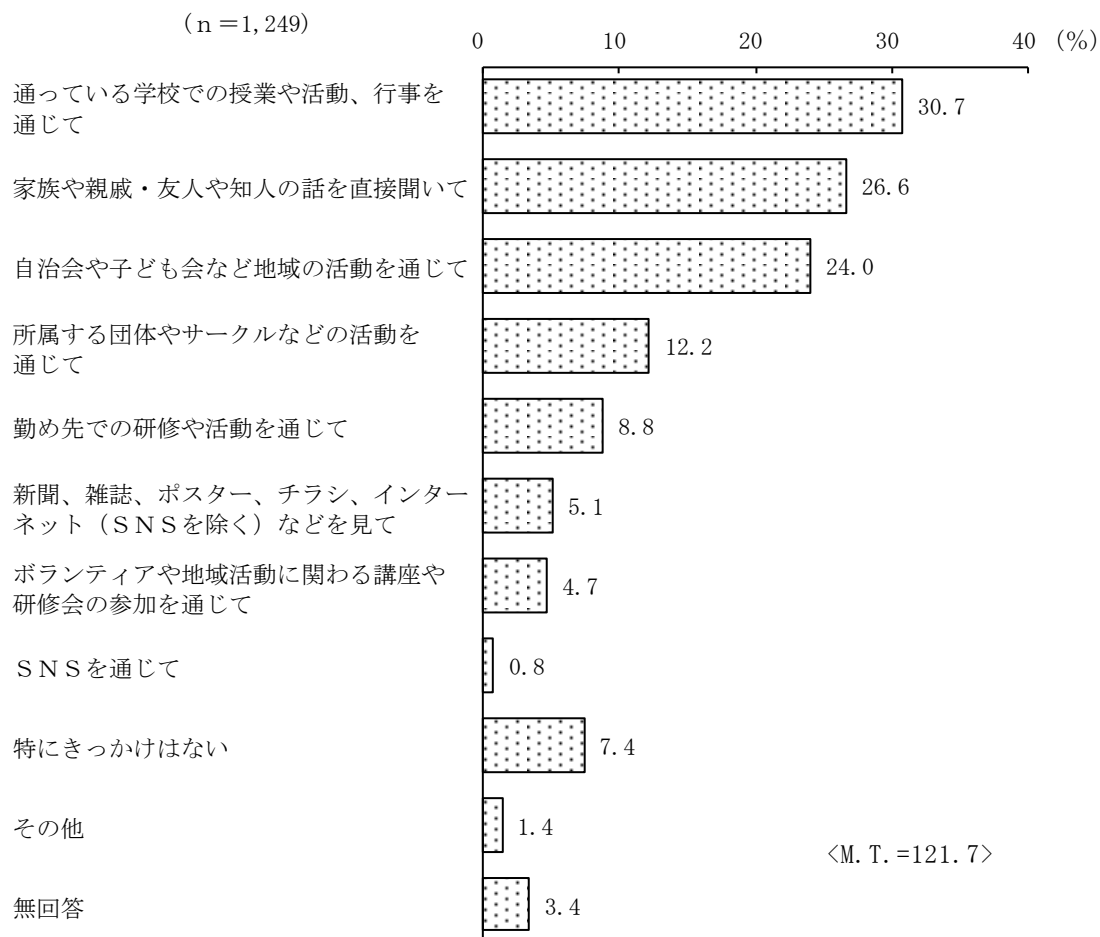
図3 ボランティア活動の情報の入手先



#### 4 ボランティア活動に参加したきっかけ

過去にボランティア活動に参加したことがある人に対して、ボランティア活動に参加したきっかけを聞いたところ、「通っている学校での授業や活動、行事を通じて」(30.7%)、「家族や親戚・友人や知人の話を直接聞いて」(26.6%)、「自治会や子ども会など地域の活動を通じて」(24.0%)という回答が多く寄せられた(図4)。

図4 ボランティア活動に参加したきっかけ

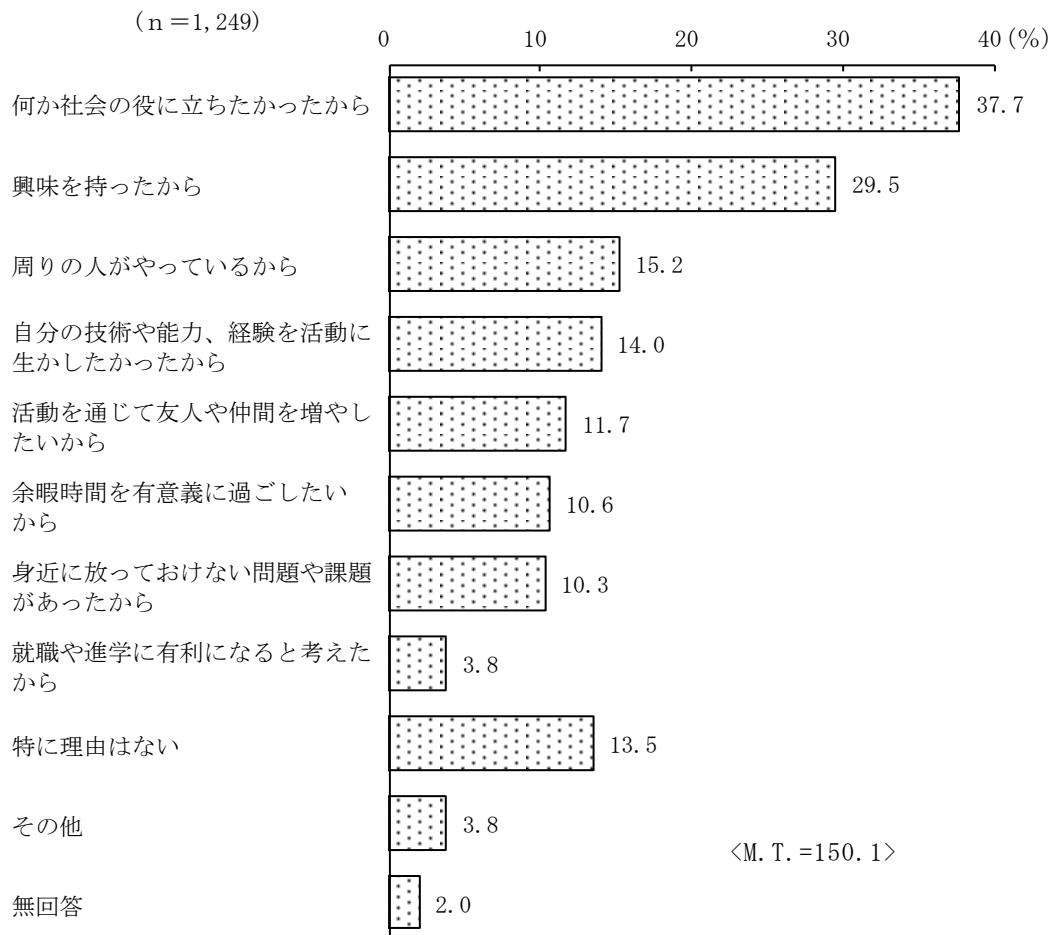


## 5 ボランティア活動に参加した理由

過去にボランティア活動に参加した人に対して、ボランティア活動に参加した理由を聞いたところ、「何か社会の役に立ちたかったから」(37.7%)、「興味を持ったから」(29.5%)という回答が多く寄せられた(図5)。

n = 1,249

図5 ボランティア活動に参加した理由

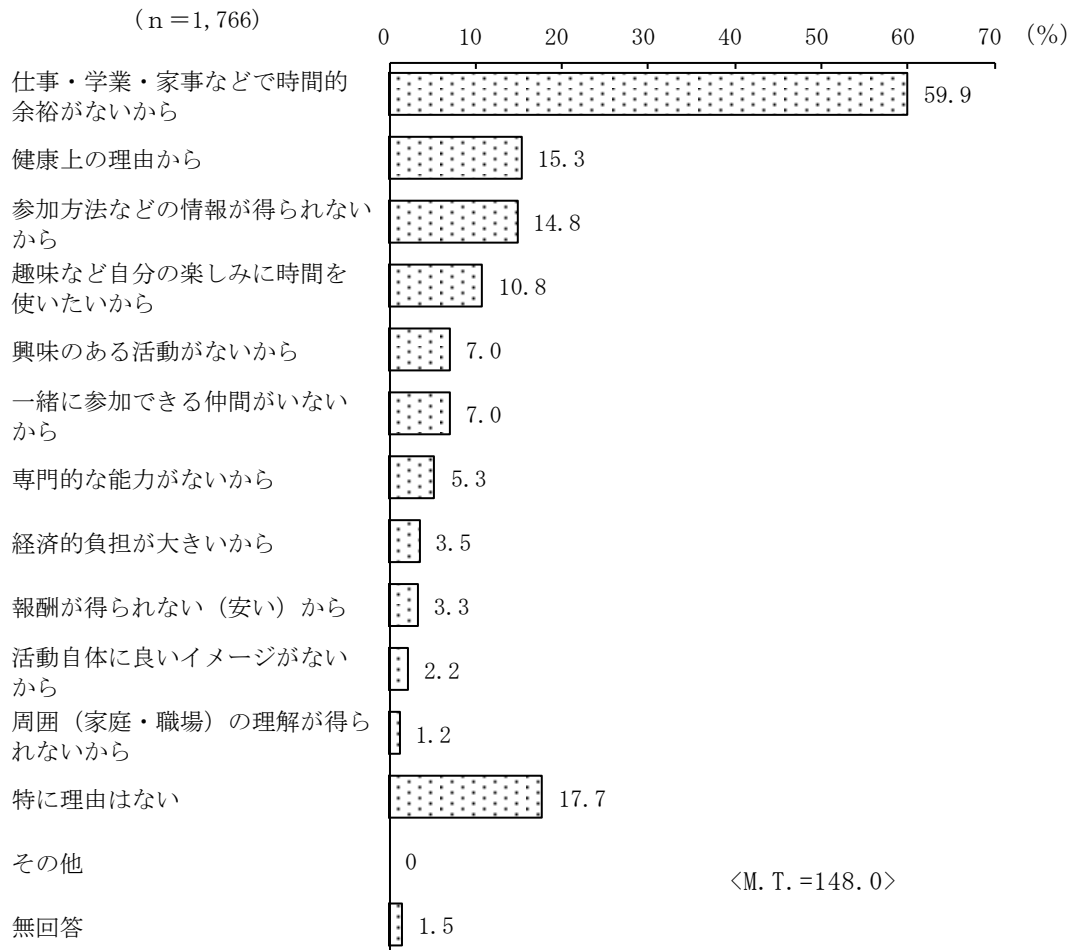




## 6 ボランティア活動をしていない理由

ボランティア活動に参加したことがないという人に対して、その理由を聞いたところ、約6割の人が「仕事・学業・家事などで時間的余裕がない」と回答している（図6）。

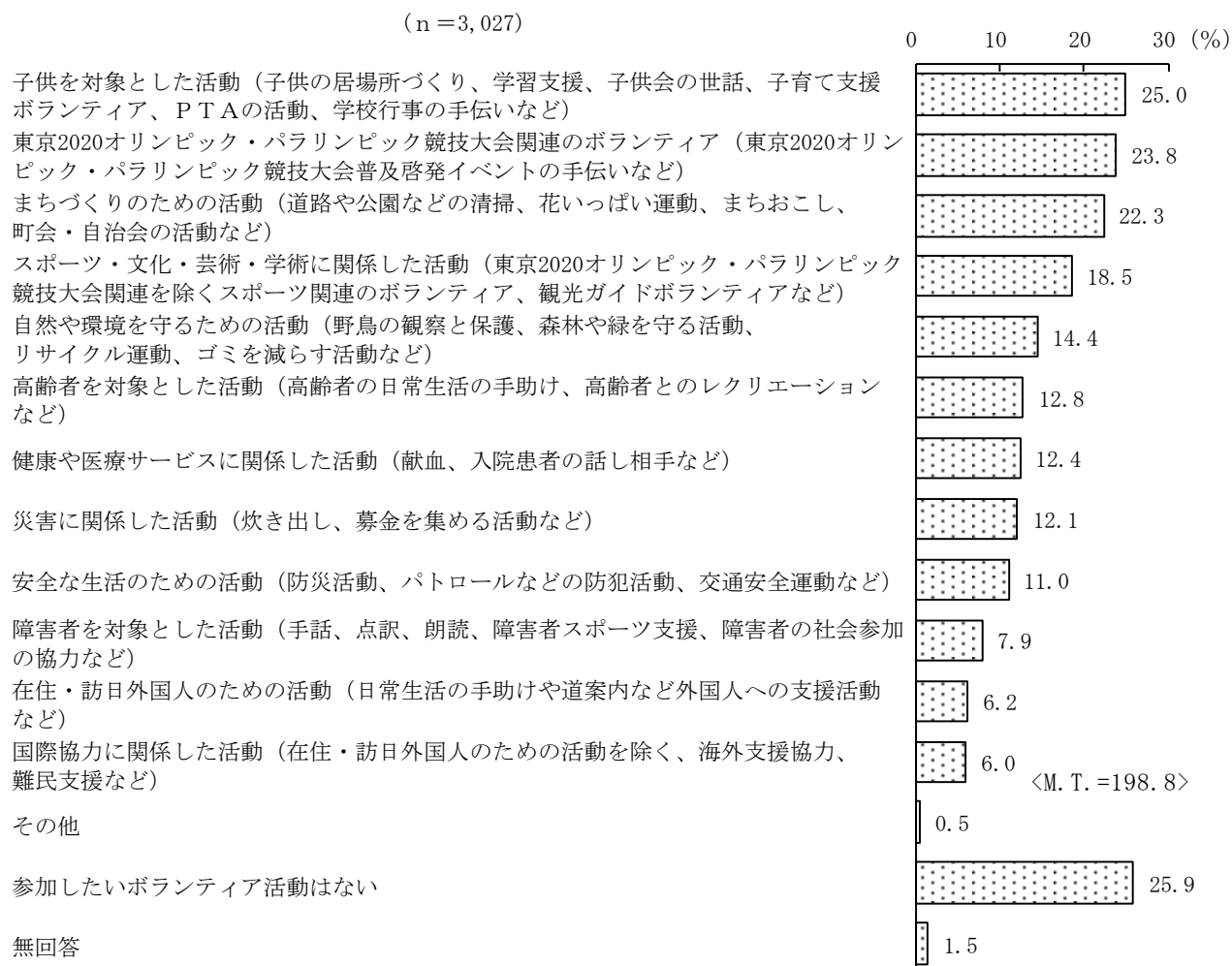
図6 ボランティア活動をしていない理由



## 7 今後参加を希望するボランティア活動

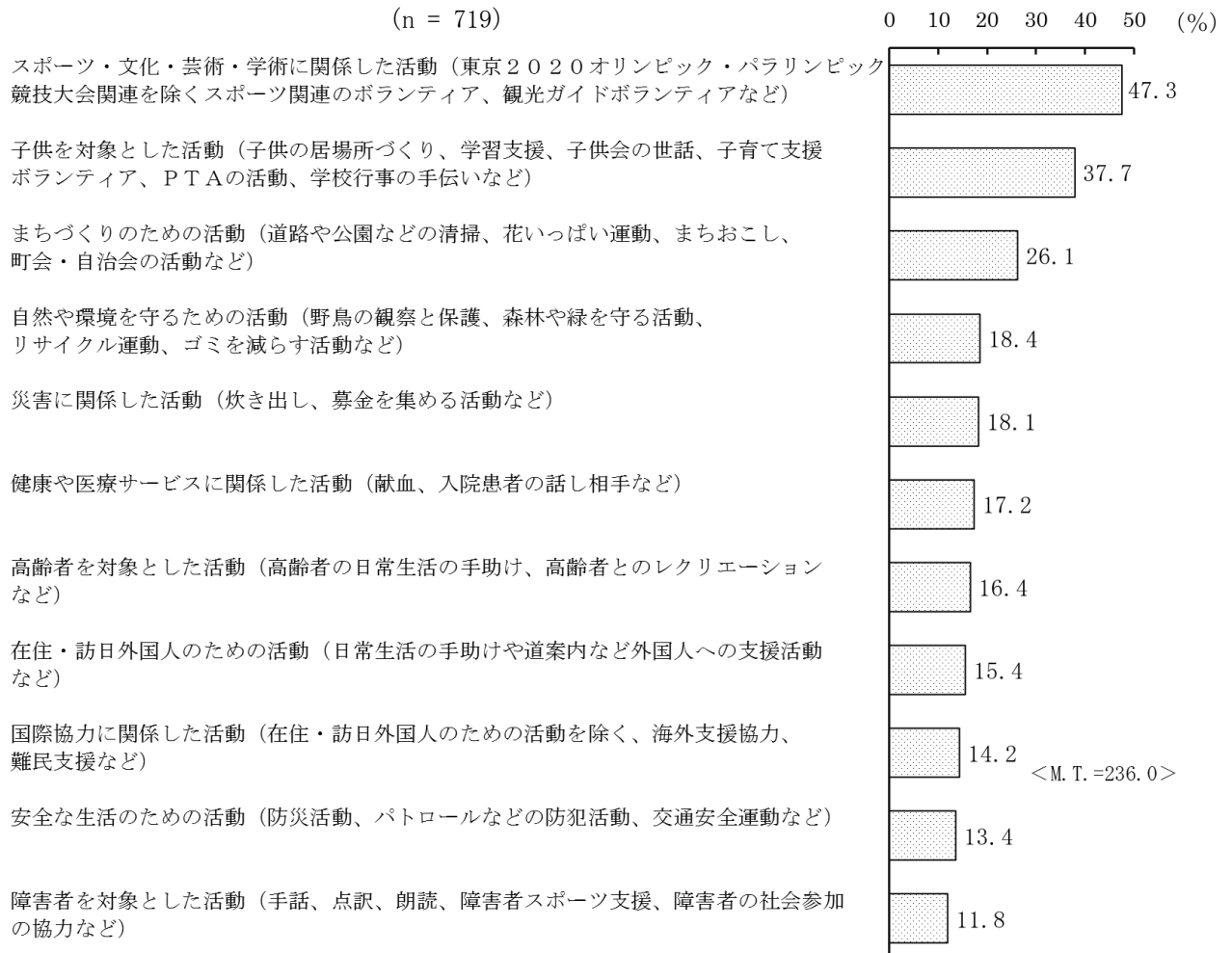
(1) 全員に今後参加を希望するボランティア活動の内容について聞いたところ、「参加したいボランティア活動はない」(25.9%)、「子供を対象とした活動」(25.0%)、「東京2020大会関連のボランティア」(23.8%)、「まちづくりのための活動」(22.3%) という回答が多く寄せられた(図7)。

図7 今後参加を希望するボランティア活動



(2)なお、東京2020大会関連のボランティア活動を希望している人が他にどのような活動を希望しているか集計したところ、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」(47.3%)、「子供を対象とした活動」(37.7%)、「まちづくりのための活動」(26.1%)という回答が多かった(図8)。

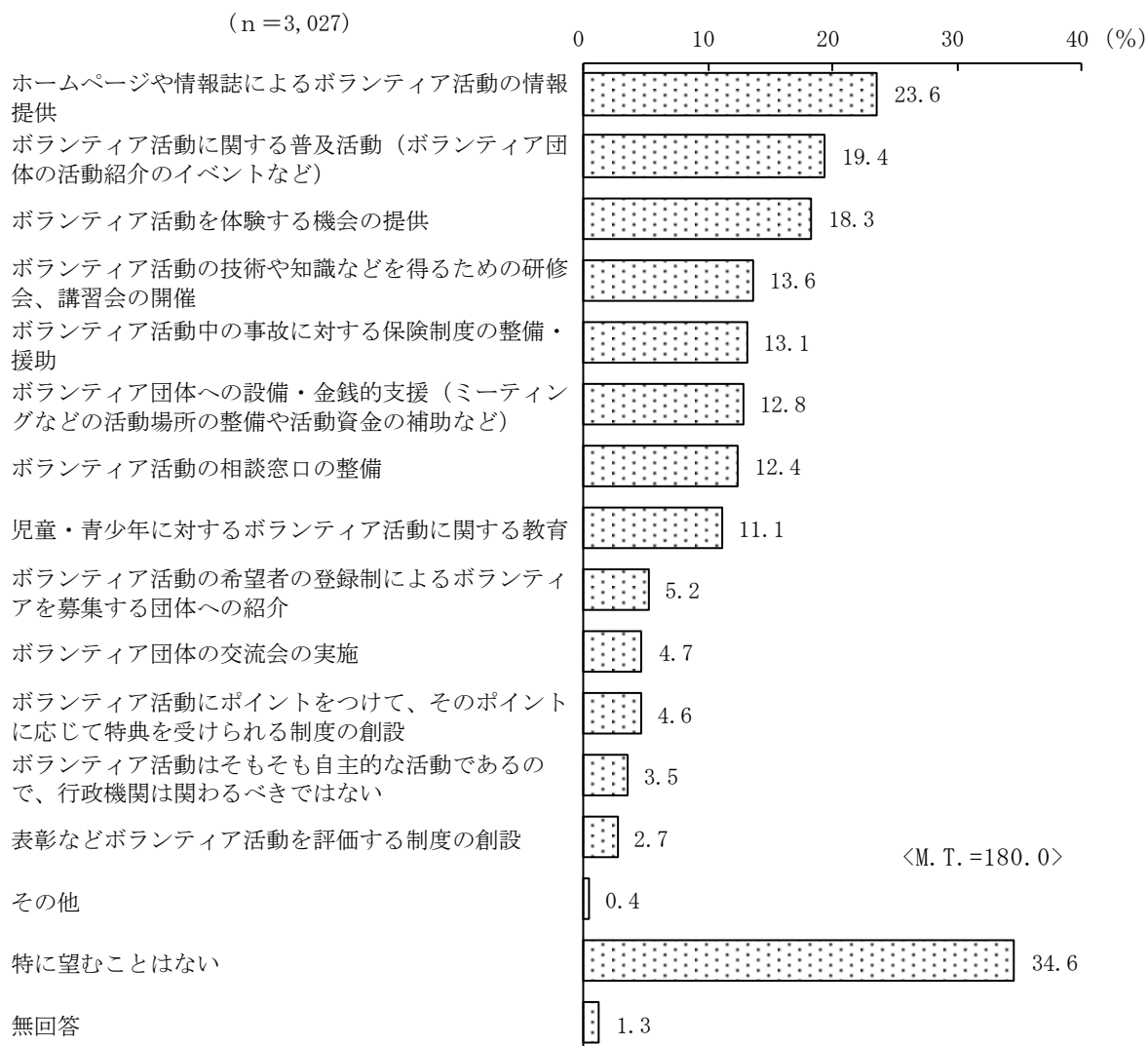
図8 東京2020大会のボランティア活動希望者が今後参加を希望するボランティア活動



## 8 行政への要望

全員に、ボランティア活動に関して行政機関に望むことを聞いたところ、「特に望むことはない」(34.6%)、「ホームページや情報誌によるボランティア活動の情報提供」(23.6%)、「ボランティア活動に関する普及活動(ボランティア団体の活動紹介のイベントなど)」(19.4%)、「ボランティア活動を体験する機会の提供」(18.3%)という回答が多く寄せられた(図9)。

図9 行政への要望



## 9 東京ボランティア・市民活動センターについて

(1)全員に対して、東京ボランティア・市民活動センターを知っているかどうか聞いたところ、約6%の人が知っているという回答している（表3）。

表3 東京ボランティア・市民活動センターを知っているか

区分	全 体	利用した ことがある	知っている が、利用 したこと はない	知らない	わからな い	知っている (計)	無回答
回答者数(人)	3027	25	159	2734	99	184	10
割合(%)	100.0	0.8	5.3	90.3	3.3	6.1	0.3

(2)全員に対して、東京ボランティア・市民活動センターのウェブサイト「ボラ市民ウェブ」を知っているかどうか聞いたところ、約3%の人が知っているという回答している（表4）。

表4 「ボラ市民ウェブ」を知っているか

区分	全 体	利用した ことがある	知っている が、利用 したこと はない	知らない	わからな い	知っている (計)	無回答
回答者数(人)	3027	6	80	2839	92	86	10
割合(%)	100.0	0.2	2.6	93.8	3.0	2.8	0.3

(3)東京ボランティア・市民活動センターないし「ボラ市民ウェブ」を利用したことがあるという人に対して満足度を聞いたところ、約7割が満足しているという回答している（表5）。

表5 東京ボランティア・市民活動センターないし「ボラ市民ウェブ」の満足度

区分	全 体	とても 満足し ている	どちら かとい えば満 足して いる	どちら かとい えば満 足して いない	満足し ていな い	わから ない	満足し ている (計)	満足し ていな い(計)	無回答
回答者 数(人)	27	5	14	3	1	2	19	4	2
割合 (%)	100.0	18.5	51.9	11.1	3.7	7.4	70.4	14.8	7.4